



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成24年2月1日

No.

107

第4回(12月)定例会・第2回臨時会

- 第4回定例会関連記事…………… 3～5ページ
- 一般質問(8人登壇)…………… 6～9ページ
- 委員会レポート…………… 10～13ページ
- 第2回臨時会関連記事…………… 14ページ



ごあいさつ

議長 畑中 由喜子



みなさま、平成24年の初春をいかがお過ごしでしょうか。

と共に、被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げ、被災地の一刻も早い復興をお祈りいたします。

要する下水道問題、子育て世代や高齢者など誰もが安心して暮らせるまちづくり、地域社会の再生に加え、安全のまちづくり、そしてその基盤となる財政問題など多くの行政課題があります。議会

なのは言うまでもありません。議会でも災害時の議会の役割や対応の仕組みづくりに取り組んでいますが、今こそ、地域社会の繋がりが・絆の大切さを認識し、一層深めることが求められる時ではないと感じます。

津波、福島第一原発の事故、各地の大雨による土砂崩れ、洪水などの自然災害と、我が国にとって非常に大きな困難に直面した年でありました。同時に困難の中で、これほど人と人の、あるいは地域の繋がりが・絆の大切さを思い知った年はなかったと思います。

私も葉山町議会は、昨年4月に、これまでの17人による議会構成から3人減とした選挙の結果、14人の議員が選ばれ、新たな議会活動をスタートいたしました。さらに、

また、先の東日本大震災の教訓から、三浦半島地域で高まっているとい

一人ひとりの力は小さくても集まれば、大きな力になります。議会として、皆さまとともに被災地への思いを忘れずに、葉山町のさらなる発展、住民福祉の向上のために寄与できるよう努めてまいります。

世界的な経済不況や円高などによって、我が国の経済は低迷が続いており、その影響は葉山町にも影を落としています。そうした状況のなか、葉山町には現在、ごみ問題をはじめ、多額な経費を

また、先の東日本大震災の教訓から、三浦半島地域で高まっているという断層活動、直下型地震の可能性など、防ぐことのできない自然災害への備えとして、少しでも被害を小さく抑える減災への取り組みが急務です。

どうか、本年も、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、議会を代表いたします。皆さま方のますますのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

あまりにも大きな災害に言葉もありませんが、犠牲となられた多くの方々のご冥福をお祈りする

準備を整え、多額な経費を

の参加による対策が必要



議会活動日誌

今回は、第3回定例会終了以降、第2回臨時会終了までの活動報告をいたします。

10月	17～19日	教育民生常任委員会(行政視察)	24日	教育民生常任委員会 議会運営委員会
25日	議会運営委員会	25日	自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会	
26～28日	総務建設常任委員会(行政視察)	29日	本会議(定例会)	
31日	議会広報特別委員会	30日	本会議(定例会)	
11月	1日	議会広報特別委員会	12月	本会議(定例会)
7日	教育民生常任委員会	1日	本会議(定例会)	
8日	議会広報特別委員会	2日	総務建設常任委員会	
9日	ごみ問題特別委員会	5日	教育民生常任委員会	
11日	総務建設常任委員会	6日	ごみ問題特別委員会	
12日	議会報告会	7日	議会運営委員会	
14日	議会広報特別委員会	9日	議会運営委員会	
17日	鹿児島県熊毛郡町議会 議長会視察来町	14日	議会広報特別委員会	
	滋賀県蒲生郡町村議会 議長会視察来町	15日	議員懇談会	
	沖縄県中部地区町村議会 議長会視察来町	19日	議会運営委員会	
	議会議長会視察来町	20日	本会議(臨時会)	

こんなことが決まりました

第4回 12月 定例会

第4回定例会を、11月29日から12月9日まで開催しました。一般質問は8人の議員が登壇し、当面する行政課題をただしました。議案は葉山町一般会計補正予算をはじめ、一般職の職員の給与に関する条例等9件を審議しました。

◎平成23年度葉山町一般会計補正予算(第5号)

オストメイト(人工肛門・人工膀胱造設者)対応トイレの設備整備等を行うものです。県から全額補助されます。

◎平成23年度葉山町一般会計補正予算(第6号)

青少年会館建替事業費のうち、3573万2千円を24年度に繰越すものです。23年度中に完成する予定でしたが、入札が不調に終わりました。よって予算を繰越し、完成は7月中旬を予定しています。

◎平成23年度葉山町国民健康保険特別会計補正(第2号)

◎平成23年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正(第2号)

◎平成23年度葉山町下水道事業特別会計補正(第2号)

◎葉山町一般職の職員の給与に関する条例及び葉山町一般職の任期付職員等の採用等に関する条例の一部を改正する条例

◎葉山町立の障害者支援施設に関する条例及び葉山町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例



オストメイト対応トイレ

一般職の職員等の給料月額を引き下げるもので

全会一致で可決しました。

全会一致で可決しました。

平成23年度補正予算

歳入歳出予算の総額

単位：千円

会計名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	9,376,466	1,688	9,378,154
特別会計	国民健康保険	40,287	3,653,234
	後期高齢者医療	△1,913	719,811
	介護保険	△7,873	2,359,497
	下水道事業	1,292	1,244,037
	小計	7,944,786	31,793
合計	17,321,252	33,481	17,354,733

表 決 結 果

議案・決議・意見・陳情等	議員名(議席順)														結 果	
	鈴木道子	長塚かおる	窪田美樹	守屋巨弘	田中孝男	中村文彦	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	山梨崇仁	横山すみ子	金崎ひさ	伊東圭介	畑中由喜子		
議案	平成23年度葉山町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案	平成23年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案	平成23年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案	平成23年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案	平成23年度葉山町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案	葉山町一般職の職員の給与に関する条例及び葉山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案	葉山町立の障害者支援施設に関する条例及び葉山町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案	葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案	平成23年度葉山町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見	自動車関係税等に係る地方税源の確保に関する意見書 (議員提案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	-	可決
決議	森英二町長に対する問責決議(議員提案)	○	○	× 討論	○ 討論	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	-	可決
陳情	葉山町議会議員の報酬削減を求める陳情書	× 討論	○ 討論	× 討論	○ 討論	×	×	× 討論	○ 討論	○	×	×	×	○	-	不採択
陳情	葉山町職員給与の改正を求める陳情書	○	○	○	× 討論	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承
陳情	浄化センター処理能力改定の事実調査と調査結果を公にする事を求める陳情<再提出>	×	×	○	○ 討論	○	×	×	× 討論	○ 討論	○	○	○	×	-	採択
陳情	葉山町非常勤特別職の報酬の改正を求める陳情書	○	○	○	× 討論	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承
陳情	葉山町町長および教育長の給与の削減に関する陳情書	○	○	○	× 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承
陳情	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承

◎は提案者 ○は賛成 ×は反対

※議長に表決権はありませんが、可否同数の時のみ議長が決します。

決 議

森英二町長に対する問責決議

平成20年1月に森町長が誕生し、同年5月には2市1町のごみ処理広域化から、選挙公約のとおり町長の一存で離脱した。2市との調整も行わないままの離脱により起こされた裁判の判決が下された。絶対に負けないと豪語していたにもかかわらず、横須賀市へ330万円、三浦市へ65万円などの支払いを命ずるものであった。

議会意思を無視し、町長自身の独断で行った行為により、町民に対し、さらなる財政負担を及ぼすのは許されざる行為である。

森町長の責任を問うとともに、以下の点について実行することを求める。

- 1 控訴の判断は、近隣自治体との関係に配慮すること。
- 2 損害賠償金は、森英二氏が負担すること。

以上のとおり決議する。

平成23年12月9日

葉山町議会

意 見 書

自動車関係税等に係る地方税源の確保に関する意見書

民主党税制調査会は11月28日、自動車業界などの意向を受け、自動車重量税及び自動車取得税の廃止、抜本的な見直しを強く求めた平成24年度税制改正の重点要望を政府税制調査会に提出した。

「自動車重量税」は税収の約4割が譲与税として、「自動車取得税」は約7割が交付金として、それぞれ市町村に配分され、貴重な財源となっている。市町村の厳しい財政状況を考慮すると、代替財源が示されない減税政策は、到底受け入れられない。

加えて、市町村は、「固定資産税」についても、土地・建物の価格下落等の影響により、全国平均で約4.5%の大幅な減収が見込まれている。

こうした厳しい税収環境は、増大する少子高齢化に伴う医療・福祉の行政需要等に深刻な影響を与えることは必至である。

よって、国においては「自動車重量税」及び「自動車取得税」について、代替財源もないまま廃止しないよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年12月9日

葉山町議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、

総務大臣、財務大臣、経済産業大臣

◎紙面の都合上、内容は要約しています。

みなさんからの陳情・要望のゆくえ

◎葉山町議会議員の報酬削減を求める陳情書	不採択
◎12月9日の議長発言を着実に実施することを求める、陳情	審議未了
◎葉山町職員給与の改正を求める陳情書	趣旨了承
◎浄化センター処理能力改定の事実調査と調査結果を公にする事を求める陳情<再提出>	採択
◎葉山町非常勤特別職の報酬の改正を求める陳情書	趣旨了承
◎葉山町町長および教育長の給与の削減に関する陳情書	趣旨了承
◎大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	趣旨了承
◎陳情「労使交渉に関する確認書」を森英二町長在任中に破棄させる決議を行なうこと	審議未了
◎T P P 交渉参加反対に関する要請	机上配布



ごみ焼却炉

質問 いっぱい

質問者の提出原稿を基に編集しています

伊東圭介

3年連続予算案否決・2年連続決算不認定の自己評価は町長 与党・野党の数の問題だ



よって現在の葉山町の停滞があるのではないかと。

町長 何もやらなかったわけではない。下水道事業も年10ヘクター程度

町長 政治姿勢や資質の問題ではない。政策に対しての考え方の違いである。面整備に抑えながら借金も少なくし、返済を多くした。

町長 町長は、4年間で14億円財政健全化に寄与し

町長 たと言うが、事業をしな

町長 たと言いが、事業をしな

町長 現職の町長がまだ次期選挙に出馬するか、しないか表明しないのは、無責任ではないか。また、べき仕事はやっている。財政的な裏付けも無いのに長期的な事業に対して発言するべきではない。

町長 4年前の選挙の時



議場の町長席

中村文彦

町長 判決で町は完全勝利する
町の利益を失うコメントは控えて



めて質問する。

町長 テレビとか新聞等

町長 テレビとか新聞等で拝見しているが、選挙の際にあのような発言をされるということは、常識では考えられない。当然ごみ処理を受け入れて

町長 テレビとか新聞等で

町長 テレビとか新聞等で

町長 テレビとか新聞等で

町長 テレビとか新聞等で

町長 テレビとか新聞等で

町長 テレビとか新聞等で

町長 ここで危機管理として、小金井市の教訓を生かして、横須賀・三浦市との裁判結果が12月8日に

町長 ここで危機管理として、

守屋 亘 弘

「待ってくれ」との意味は

町長 「待ってくれ」とは言っていない



で、葉山町長に対し、平成20年3月14日、「2市1町ごみ処理広域化に関わる葉山町の方針について」と題する書面を送付、一部事務組合設立に関する覚書の履行にどのような対応するのか、早急に償請求事件での町長発言、「待ってくれ」とはどのような意味だったか。

平成21年1月29日付の横須賀市並びに三浦市の訴状では、両市が市長名

問 ごみ処理広域化計画からの離脱に伴う損害賠償請求事件での町長発言、「待ってくれ」とはどのような意味だったか。

平成21年1月29日付の横須賀市並びに三浦市の訴状では、両市が市長名



葉山保育園の給食

問 平成24年4月の介護保険制度改正・施行での横須賀市のように暫定的制度導入の考えは。

保健福祉部長 改正案が示されていないが、現状は維持していきたい。

問 紙おむつ支給など、支援サービス内容に近隣



窪田 美 樹

保健福祉部長

介護サービスの近隣との違いは

ばらつきのある行政ではない

問 平成24年4月の介護保険制度改正・施行での横須賀市のように暫定的制度導入の考えは。

保健福祉部長 改正案が示されていないが、現状は維持していきたい。

問 紙おむつ支給など、支援サービス内容に近隣

と違いがあるが。

保健福祉部長 ばらつきのないよう検討していく。

問 ごみ問題が進展していない。分別推進のため資源ステーションの設置だけでも進めたらどうか。

町長 ごみの分別が減量化に繋がり、分別を進めるためにも有効であると考え、検討している。

問 ごみ処理の住民説明会が13回では少ない。数多く開くべきでは。

問 介護サービスの近隣との違いは

町長 きめ細かい説明会を急いで進めていく必要があると思う。

問 ごみ処理の技術革新への発信は。

生活環境部長 幅広く注目、研究している。

問 提供給食の放射線量測定結果と安全性は。

教育長 測定結果は「検出せず」で安全である。

問 検査は今回限りか。

教育部長 今後も実施しなければと考えている。

問 防災無線の難聴地域への対応は。

町長 情報伝達機器の整備は重要な災害対策の一つと認識している。

問 難聴地域への対応は、お金がかかるという問題で済まないのではないか。

総務部長 新たに町内会長へのアンケートを実施した。個別の計画は未だ立っていないが、指摘も含めて検討する。

問 防災無線の難聴地域への対応は。

町長 情報伝達機器の整備は重要な災害対策の一つと認識している。

問 難聴地域への対応は、お金がかかるという問題で済まないのではないか。

総務部長 新たに町内会長へのアンケートを実施した。個別の計画は未だ立っていないが、指摘も含めて検討する。



12月8日の判決文

荒井直彦

姉妹都市草津の宿泊施設助成金事業について見直しは

町長 改めて精査し、中身を再度検討して行う



問 昭和44年3月から姉妹都市関係を締結し、今日まで30年余り経過している。その歴史と重みある姉妹都市関係を構築している柱のひとつの制度の今後は。

町長 本来の姉妹都市交流事業の趣旨に合った内容を検討していく。

問 草津町温泉宿泊施設のホームページとリンクをしていただきたい。

町長 丁寧な案内になるように改定をする。

問 毎年、葉山町の事業を更新するにあたり、口頭ではなく、書面にて、草津温泉宿泊施設にご案

内しては。 総務部長 今後は草津町にも伝わるように丁寧に言う。

問 E S C O 事業の現状は。

生活環境部長 大規模な

E S C O 事業は中断している。 費用対効果の悪い老朽化設備を更新しながら、E S C O 事業を成立させる設備更新型 E S C O を再公募してはいかかがか。

総務部長 今後は、財政状況や環境部門等と調整しながら、よりよい形に前向きに検討する。

問 一括契約の内容もある程度明確にしていた方がいい。 全体契約は効かにさせる。



金崎ひさ

町長 マニフェストの達成度は80%達成



問 40数項目掲げたうち、数項目しか実行していないので、8%である。

町長 実態にそぐわなかったものはマニフェストから外すので、80%だ。

問 そのように御自分から外すので、80%だ。

問 二期4年に全力投球、次代の町長を養成する」とマニフェストにある。次期町長に申し送りすべき事項について伺う。 町長 現実の説明のみを頼りたくない。

町長 実際のマニフェストとの明言はしていない。

問 ごみ焼却炉を廃炉するにあたり、議会からの

問 バグフィルター用ろ布を819万円で買って保管している。どうするのか。ムへの町有地提供の約束の履行をお願いする。

町長 誰が次期町長になっても引き継ぐ。

問 2本の決議への対応は。

町長 どういう内容の決議

問 議会からの重要な決議も念頭になく、廃炉の報告をしたのか。全く信頼できない。

町長 直接物申すことは差し控えた方がよい。 状況か。

問 横須賀、三浦両市の

町長 誰が次期町長にな

町長 県と交渉中である。 障害者グループホームへの町有地提供の約束の履行をお願いする。

町長 誰が次期町長にな



町民とのお約束

町長 誰が次期町長にな

町長 誰が次期町長にな

町長 誰が次期町長にな

町長 誰が次期町長にな



ご本が大好きです

鈴木道子

図書館で、「赤ちゃんタイム」を導入してはどうか

教育長 今後に向けて検討していく



つの小・中学校には、横須賀新聞販売協同組合から数紙の新聞を無償で提供されている。

教育長 一定の働きかけはするが、判断は学校にゆだねていきたい。

問 学校などで新聞を教材として活用するNIEの実施について伺う。

問 文科省では新聞の活用を強調し、指導要領にも、言語力の充実がうたわれている。PISA(学習到達度調査)によると、総合読解力と新聞の閲読頻度に相関関係があることが判明したそうだが、活用度の検証、研究の体系づ

われている。PISA(学習到達度調査)によると、総合読解力と新聞の閲読頻度に相関関係があることが判明したそうだが、活用度の検証、研究の体系づ

横山すみ子

町長在任は1期4年という公約を守るのか
町長 あれば6支援団体の1つとの約束事だ



問 町長と1期4年の任期と約束をした団体は町長の公約としてチラシをまき、宣伝をした。公約でないとは言葉の遊びだ。

町長 町長在任は1期4年という公約を守るのかどうかを伺う。

問 団体の1つとの約束事で、止したままで、焼却炉の選挙公報に載せるたぐいのものではない。

問 クリーンセンター排水中のダイオキシン類基準値オーバー問題の経過と結論について伺う。

町長 11月29日の議員懇談会では、場内等の清掃を行い水質検査を続けた結果、焼却灰に触れた水が放流されたことが原因であったと特定したとの説明があった。現在焼却炉は停

町長 6月、7月、8月と3回水質の検査を行った。結果が出るのは約1カ月かかり、9月30日に県に報告した。それに基

づいて内部で検討に検討を重ねて今回に至った。

問 焼却炉を休炉にしたまま焼却の民間委託を、いずれば焼却にするというのは、ごみ処理基本計画の変更ではないか。

町長 あれば6つの支援

町長 現在焼却炉は停

づいて内部で検討に検討を重ねて今回に至った。

問 焼却炉を休炉にしたまま焼却の民間委託を、いずれば焼却にするというのは、ごみ処理基本計画の変更ではないか。



ごみ収集のパッカー車

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

葉山町職員給与の改正を求める陳情書

ある非常勤特別職の報酬は本町ではほとんどが月額制となっており、その見直しの早期実行を求めているものです。

審査では「二元代表制のもと、議会が削減に関する陳情を採択するわけにはいかないが、人件費の問題はさけて通ること

とになる。ついては、日量最大値変更の理由及び真の処理能力について公にすることを求めている

大増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書
看護師等の夜勤・交代制労働者の大幅増員及び労働環境改善のための法規制が必要である。また、

本町の財政は、経常収支比率が99%と県下で最悪であり、歳出総額に対する人件費比率は29.7%を占めている。大磯町は23.3%であることから、職員給与を10%削減すること

を求めているものです。あるというのが、議会意見で「二元代表制のもと、議

会が削減値まで要求している陳情に対して一方的に賛同することはできないが、人件費の削減は避

けで通ることができない問題である」などとし全会一致により趣旨了承すべきものと決しました。

看護師等の夜勤・交代制労働者の大幅増員及び労働環境改善のための法規制が必要である。また、地域医療再生のためには、医療・社会保障予算を先

とを求めているものです。あるというのが、議会意見で「二元代表制のもと、議

会が削減値まで要求している陳情に対して一方的に賛同することはできないが、人件費の削減は避

けで通ることができない問題である」などとし全会一致により趣旨了承すべきものと決しました。

看護師等の夜勤・交代制労働者の大幅増員及び労働環境改善のための法規制が必要である。また、地域医療再生のためには、医療・社会保障予算を先

進国並みに増やし、国民の負担を減らすことが求められている。そして、労働時間の削減と医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすことなど、3

「二元代表制のもと、議会が削減値まで要求している陳情に対して一方的に賛同することはできないが、人件費の削減は避

けで通ることができない問題である」などとし全会一致により趣旨了承すべきものと決しました。

看護師等の夜勤・交代制労働者の大幅増員及び労働環境改善のための法規制が必要である。また、地域医療再生のためには、医療・社会保障予算を先

進国並みに増やし、国民の負担を減らすことが求められている。そして、労働時間の削減と医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすことなど、3

点について、地方自治法第99条に基づき、国に対して意見書を提出するよう求めているものです。



教育民生

浄化センター処理能力改定の事実調査と調査結果を公にする事を求める陳情〈再提出〉

町は、浄化センターの処理能力を1系列当たり3525m³/日に変更している。1系列当たりの最大処理能力が3100m³/日でないのであれば、平成22年2月に完成した浄化センターの第三系列増設の必要性が揺らぐこ

と決しました。

町は、浄化センターの処理能力を1系列当たり3525m³/日に変更している。1系列当たりの最大処理能力が3100m³/日でないのであれば、平成22年2月に完成した浄化センターの第三系列増設の必要性が揺らぐこ

と決しました。

と決しました。

町は、浄化センターの処理能力を1系列当たり3525m³/日に変更している。1系列当たりの最大処理能力が3100m³/日でないのであれば、平成22年2月に完成した浄化センターの第三系列増設の必要性が揺らぐこ

と決しました。

と決しました。

町は、浄化センターの処理能力を1系列当たり3525m³/日に変更している。1系列当たりの最大処理能力が3100m³/日でないのであれば、平成22年2月に完成した浄化センターの第三系列増設の必要性が揺らぐこ

と決しました。

と決しました。

所管事務調査

12月5日、し尿投入口建設問題に係る県との協議、進捗の報告を受けました。また、町内6小中学校全校を視察し、各学校における施設面や設備における課題を確認して回りました。

委員長 山梨崇仁



議会運営

葉山町議会議員の報酬削減を求める陳情書

本町の財政は経常収支比率が99.9%と県下で最悪

であり、新たな施策が実施できない状況にある。大磯町では平成21年度決算ベースで歳出総額に対する人件費比率は23.3%であるが、本町では29.7%を占めており、人件費が財政逼迫の主因となっている。また、議員報酬は大会の講師から、『片手間

磯町議会議員と比べても高額であり、本町の平成23年度人件費予算を10%削減すれば2億9千万円を福祉などのサービスに回すことができる。よって、財政健全化のため議員が率先垂範すべきであるとし、議員報酬を5~10%削減することを求めているものです。

審査では、「陳情の願意は、総人件費の比率が高い。人件費は財政圧迫の一因であり、総人件費を抑制するためには議員報酬も議員が率先して削減すべきである」「議員報酬については様々な考

え方があるが、町民の声、厳しい社会経済現況を考慮すれば敏感に対応すべ

きである」との採択に賛成の意見がある一方、「既に議員定数も削減した。議員の活動日数は他自治体議会に比べて非常に多い。近隣市と比較しても議員報酬は高くない」「先に開催した研修



ごみ問題特別

委員長 守屋亘弘

クリーンセンター職員からの報告を求め、既に提出されている資料の図中のA地点(左図参照)で処理基本計画の作成が必要であることを確認しました。要であるとの説明を受けて、11月29日の議員懇談会③ 議会報告会の内容に

11月9日の委員会において、11月12日に開催予

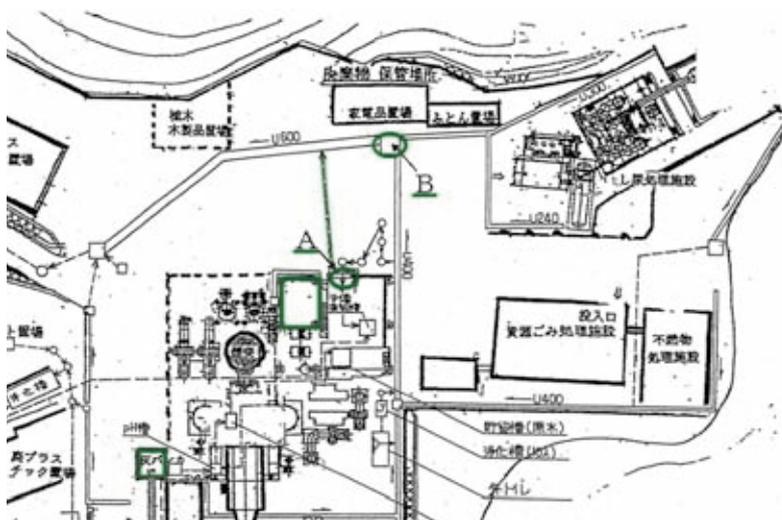
定の「クリーンセンター排水中のダイオキシン類基準値オーバー問題について」の議会報告会の資料として作成したパワーポイントを委員全員で検討しました。説明等について

の指摘を受け、修正後、議会運営委員会了承を得て、当日資料を完成させました。

所管事務調査

① ダイオキシン類が基準値を超過して検出され

た際の計測地点について、



葉山町クリーンセンター排水系統図

総務建設常任委員会行政視察報告

視察日

平成23年10月26日(水)～
28日(金)

視察地及び視察目的

①大分県国東市

●観光によるまちづくり

●総合情報化推進事業

●弥生のムラ・安国寺集

落遺跡公園

②大分県由布市

●「地域自治を大切に

した住みよさ日本一のまち

由布市」のまちづくり

③大分県豊後高田市

●「昭和のまちづくり」

視察概要

第1日目 国東市

●観光によるまちづくり

地域特性を最大限に活

かした3つの取り組みを

しています。

1 歴史的文化遺産と伝

統民俗行事を「いにしえ

の宝」として未来へ継承

し、地域の活性化につな

がる交流資源として活用。

2 奇岩景勝に富んだ緑

豊かな山並みと白砂青松

の美しい海岸をまちづく

りに活かす。

3 特産品のPRやブラ

ンド化、観光交流施設の

活用により、市民のみな

らず来訪者にとつて魅力

ある観光交流を図る。8

市町村と連携し広域観光

ルートづくり等に取組む。

●総合情報化推進事業

ケーブルテレビ放送や

ケーブルインターネット

の基本サービスは市が提

供し、多チャンネル等は

民間事業者が事業運営を

行っています。主なメリ

ットとして次の4点が挙

げられます。

1 情報伝達の充実。

2 テレビ難視聴地域の

解消。

3 若者層の定住促進。

4 双方方向サービスの展

開が将来的に可能。

自主制作番組の企画、

取材、編集は職員3人で

行っており、地域に密着

し、旬で人間味にあふれ

たものです。単に情報伝

達にとどまらず市民と行

政を結ぶ広報のあり方に

ついて参考になりました。

●弥生のムラ・安国寺集

落遺跡公園

特色は高床式住居の建

築部材のほぼ1棟分が出

土していることです。平

成4年に国指定史跡とな

り、整備し、平成18年に

オープンしました。古代

食を食べて高床式住居に

泊まる「古代の旅」など

多くの人に親しまれる施

設を目指しています。

第2日目 由布市

●「地域自治を大切に

した住みよさ日本一のまち

由布市」のまちづくり

「まちの課題や問題を

みんなで解決し、自分た

ちのまちをみんなで一緒

につくっていく」という

基本のもと、まちづくり

を進めています。協働事

業としては、「地域の底

力再生事業」があり、住

民が特性を活かした個性

ある地域づくりができる

よう行政が支援します。

そして、住民自治基本

条例を平成20年に策定し

ました。その策定にあた

り市長は議会代表の議員

を含む策定委員会に諮問

し、条例素案をまとめ、

議会に上程しましたが否

決、修正案は僅差で可決

となりました。議事を代

表して議員が行政の委員

会等に参画する是非を深

く考えさせられました。

また、将来にわたって

持続可能な行財政運営を

目指し、歳入歳出におい

て「改めるべきものは改

める」との強い意志を持

って取組んでいます。職

員配置、人材育成、総人

件費の抑制などに本気で

取組み、合併当時5千万

円であった財政調整基金

は平成22年度末には14億

円になっていきます。

そして、「市民の住み

良さについての満足度調

査」を平成23年9月に、

18歳以上の市民から3千

人、中高生から300人抽

出し実施しました。

第3日目 豊後高田市

●昭和のまちづくり

宇佐参宮鉄道の終点と

して、昭和30年代は、と

ても賑わっていました。

案内人が観光客と一緒に

昭和の町を散策しながら、

商店街や各商店の歴史な

どを説明してくれるもの

です。その面白さが町の

人気を高めています。中

心市街地を更に元気にさ

4つの再生を軸とし、商

店街の魅力を高め活性化

を目指す「昭和の町」の

取組みが平成13年にスタ

ートしました。

1 看板等を木製やブリ

キ製の「昭和の看板」に

改修。

2 その店に代々伝わる

めずらしいお宝を「一店

一宝」として展示。

3 お店自慢の商品を

「一店一品」として販売。

4 お客と店主が会話し

ながら商いをする昭和30

年代のおもてなしの実行。

平成15年には年間20万

人を超える観光客が訪れ

るようになり、平成17年

に第3セクターで豊後高

田観光まちづくり株式会

社を設立しました。

昭和の町の散策には

「ご案内人制度」があり、

案内人が観光客と一緒に

昭和の町を散策しながら、

商店街や各商店の歴史な

どを説明してくれるもの

です。その面白さが町の

人気を高めています。中

心市街地を更に元気にさ

4つの再生を軸とし、商

店街の魅力を高め活性化

を目指す「昭和の町」の

取組みが平成13年にスタ

ートしました。

1 看板等を木製やブリ

キ製の「昭和の看板」に

改修。

2 その店に代々伝わる

めずらしいお宝を「一店

一宝」として展示。

3 お店自慢の商品を

「一店一品」として販売。

4 お客と店主が会話し

ながら商いをする昭和30

年代のおもてなしの実行。

平成15年には年間20万

人を超える観光客が訪れ

るようになり、平成17年

に第3セクターで豊後高

田観光まちづくり株式会

社を設立しました。



委員長 金崎ひさ

教育民生常任委員会行政視察報告

視察日

平成23年10月17日(月)
10月19日(水)

視察地及び視察目的

- ①北海道檜山郡上ノ国町
- 文化財の保存と活用について
- 歴史講座について
- ②北海道松前郡福島町
- 健康づくり推進計画(いきいき健康ふくしま21)について

年度まで年間50万円の予算をかけ大学講師を招き、上ノ国町の歴史・文化について「かみのくに歴史講座」を開講してまいりました。平成11年度からは、連続講座「ふるさとの歴史を読み解く」と改め、主に史跡発掘調査に来町している学芸員や教育委員会職員による講演を開催しています。毎年、町民のみならず、近隣自治体の住民も参加しているとのことですが、ユニークなところでは、「なぜアイヌのいるところに後からきた和人が館を作ることができたのか」という小学生の素朴な疑問に主任学芸員が答えるという「地域の行動」「町の行動」に分類して明記し、行政・各団体・町民等の役割(行動の実際)を点検・評価を行うことと定めています。

町 平成5年度から平成10

町の歴史に触れる機会を設けています。小・中学生への歴史学習や歴史講座の開講を通じて、自分たちの町の理解と愛着を深めてもらおうという施策には学ぶべきものがありました。

●健康づくり推進計画(いきいき健康ふくしま21)について

●議会基本条例に各種計画が議決事件として追加された経緯について

③北海道北斗市

●子育て支援施策について

◇病後児保育事業

◇子育て短期支援事業

◇どさんこ・子育て特典制度

視察概要

第1日目 檜山郡上ノ国町

町 平成5年度から平成10

町の取組みの一例として、

町の歴史に触れる機会を設けています。小・中学生への歴史学習や歴史講座の開講を通じて、自分たちの町の理解と愛着を深めてもらおうという施策には学ぶべきものがありました。

第2日目 松前郡福島町

●健康づくり推進計画(いきいき健康ふくしま21)について

●議会基本条例

第11条において福島町総合開発計画等12の計画とプランを議決事項に定めていきます。議決事件の拡大により、平成22年3月には、「地域福祉計画」を議決していますが、その後、町から議会へ経過等の報告はなく、議決後の議会の対応については、「子育て短期支援事業」はどちらの事業も、利用者の伸び悩み・減少という課題を抱えています。北海道の合計特殊出生率が1.21と、全国平均1.39を下回っている中で、北斗市の合計特殊出生率は1.38と高い数値を維持することができているのは、このような市独自の様々な子育て施策が実を結んだものと思います。

第3日目 北斗市

●子育て短期支援施策

「病後児保育事業」

「子育て短期支援事業」のほか、「地域子育て支援センター」「放課後児童クラブ」「ファミリーサポートセンター」「児童家庭相談室」「遺児手当(災害又は病気により養育者をなくした児童に対し支給)」「遺児育英資金(災害又は病気により養育者をなくした児童に対し支給)」「子ども医療費の助成(高校3年生まで)」「学校給食費の軽減(同一世帯で複数の児童生徒を市内の小中学校に通学させている保護者の負担軽減)」の計11項目の子育て支援施策を展開しています。

委員長 山梨崇仁



こんなことが 決まりました



第2回 臨時会

平成23年12月20日
第2回臨時会を開催しました。

◎控訴の提起について

平成23年12月8日、横須賀市に30万円を、三浦市に65万円を支払う判決を受けました。その判決を不服とし、控訴を行うため、臨時議会が開催されました。

控訴の理由として、「2市1町ごみ処理広域化協議会からの離脱について様々な不確定要素がある段階で法的拘束力を認めていること、及び住民の民意を尊重した判断を行わなければならない」という自治体間の政策協議の特殊性を考慮していないことの2点で承服できない。両市が控訴することであるが、町が控訴をしなかった場合、不利な訴訟追行を強いられることになる。また、判決を一旦は容認したものとして控訴審において事実上不利な影響を受ける懸念がある」などと説明を受けました。

採決の結果、賛成少数で否決しました。



議会人事が変わりました



副議長
金崎ひさ

示しできれば幸いです。
今後とも、議会に対し、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

副議長の欠員により、選挙を行い、金崎ひさ議員が選出されました。

副議長あいさつ

平成23年議会第2回臨時会において、副議長に選任されました。伊東圭介前副議長の残任期間を務めさせていただきます。

伊東圭介議員が平成23年12月12日に、山梨崇仁議員が12月14日に、それぞれ一身上の都合により、議員辞職願を議長に提出し、同日辞職が許可されました。

伊東圭介氏
議員辞職
山梨崇仁氏

開かれた議会を目指し、畑中議長を支えつつ、更なる議会改革を進めるため、皆様方のご協力を得ながら、副議長としての職責を果たす所存でございます。そして、議員一人ひとりが、町民の代表として、町民福祉の向上のため、その権能を十分に発揮している姿を、お

伊東圭介氏は平成11年4月の町議会選挙で初当選し、総務建設常任委員、会委員長、議会選出監査委員などを歴任し、平成23年5月から副議長を務めていました。

山梨崇仁氏は平成19年4月の町議会選挙で初当選し、予算特別委員会委員長を経て、平成23年5月から教育民生常任委員会委員長を務めていました。

表 決 結 果

議案・決議・意見・陳情等	議員名(議席順)													結果
	鈴木道子	長塚かおる	窪田美樹	守屋巨弘	田中孝男	中村文彦	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	横山すみ子	金崎ひさ	畑中由喜子		
議案 控訴の提起について	○討論	×	○討論	○討論	×討論	×	×	×	×討論	×	×	-	否決	

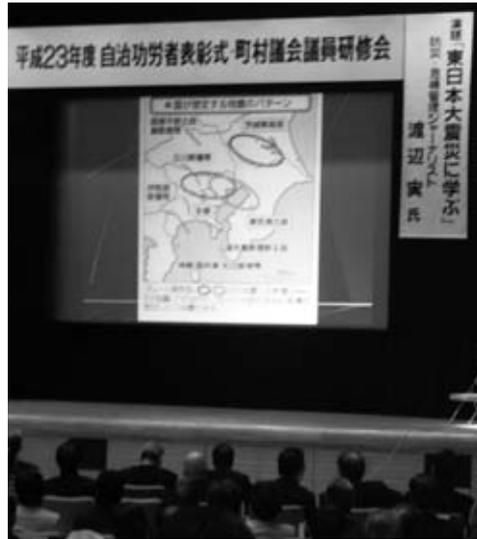
◎は提案者 ○は賛成 ×は反対 ※議長に表決権はありませんが、可否同数の時のみ議長が決めます。

議員研修会

神奈川県町村議会議長主催の町村議会議員研修会が、東日本大震災から260日目にあたる平成23年11月25日に箱根町立公民館（仙石原文化センター）にて行われ、葉山町議会議員14人全員で出席いたしました。

研修会では、防災・危機管理ジャーナリストである渡辺実氏をお招きし、「東日本大震災に学ぶ」というお話を伺いました。今、被災地に必要なこと、大切なことは次のようなことです。

まずは災害時における仮設住宅のあり方。この仮設住宅は二重窓、断熱材が使われておらず、寒冷地仕様ではない。入居者は国庫補助で1つだけ暖房器具の購入可能になったが、以前に購入した人に対して補助は出ない。30万人以上が避難され



ているが、被災者の人々は寒さに気持ちが悪くなりやすくなり、戸市であったような生活が増えた。また、アルコールに依存する人も増え、中毒患者には特に女性が多いという。何より孤独死を出さないことが大切。復興は被災者が主役であり、復興へのプロセス、今、どの段階にあるのか、丁寧な情報提供していくこと。

政の課題は3月11日当日の行政の応急市民対応、復興対策をすることは今からでも遅くはない、とのことでした。

十分な議論の時間を取り、復興対策をする代表たれ」。

「納得」した復興を行う。被災者と行政を結ぶのが議会と議員の役割であるから「被災者の代表たれ」。

「復興まちづくり」をセツトで議論していく。被災者の心に寄り添い「説得」ではなく、

阪神淡路大震災で神戸市であったような生活。活再建被災者カルテを作り「生活再建」と「復興まちづくり」をセツトで議論していく。

議会報告会



平成23年11月12日、葉山町福祉文化会館にて議会主催で報告会を行い、72人の町民のみなさまにお集まりいただきました。詳細は平成24年2月以降、ホームページに掲載予定です。

町長行政報告

(1千万円以上
5千万円未満の契約)

- ① 葉山処理区一色2号幹線築造工事
- 3686万5500円
- ② 葉山処理区（一色）枝線築造工事（その2）
- 2612万4千円

議会傍聴記

森町政最後の定例会を傍聴して。

昨年4月に定数3減、5名の新旧交代で議会からの行財政改革および議会改革に期待していたが、議員が議会改革とよく口にするほど内容もスピードも乏しいと感じた。

せっかく行政課題の核心をとらえても課題解決迄持っていけず先送りの繰り返し。それは、議員各位が確固たる信念、考えを持ち合わせていないからではないか。いい例が陳情審査だ、論点をずらした審査議論を繰り返した審査、挙げ句最後には審査内容など関係なく当初からの持論で表決、これでは継続審査の意味がない。議会改革だの基本条例だの二元代表制だのよく議員の討論に出てきたが、その基本は議員各位の意識改革ではないか。

最初から反対又は賛成忍びない。

財政健全化に向けて、二元代表制の首長報酬削減賛成で、議員報酬削減反対、この論理矛盾をどのように捉えたいのか。

屁理屈を言わないで、生活給の報酬は、首長はまだ余裕があるが議員にはないと素直な議論がなぜできないのか。

議会のホームページ、議会だよりで代表される情報公開度はかなり進んだ、次は議員各位の意識改革だ。

一色在住 黒下行雄

表紙説明

平成24年1月の最初に開かれた議会広報特別委員会などで、委員等が町内行事の写真撮影を行いました。

表紙は芝崎から撮ったもので、裕次郎灯台・名島そして沖には江ノ島を臨むことができます。

他の案といたしまして、初詣で賑わう森戸神社、一色海岸のどんど焼き、七色の虹のような一斉放水がされた消防出初式、24人が新成人を迎えた成人式、お餅つきなどがありました。

これからは町民の皆さまが撮られた写真などを募集し、議会だよりの紙面に掲載していきたいと考えておりますので、たくさんのご応募をお願いいたします。



議会だよりでは町民の皆さまからの写真・イラストをお待ちしています。

- 写真は白黒、カラーでも可。(葉山の風物など)
 - 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
 - 紙面の都合で掲載できないこともあります。
- 葉山町議会事務局

電話 876-1111 (内線421)

町議補選 行われる



待寺真司議員



近藤昇一議員

1月15日に執行された町議会議員補欠選挙において、近藤昇一氏(堀内在住)、待寺真司氏(一色在住)が選ばれました。

平成24年、皆さまはどんな願いや思いを抱いて新年を迎えられましたか。我が家のお正月は、娘たち、姪と私がおせち料理を分担して作り、主人がお雑煮を作るのが恒例です。今年は、子どもたちの作ったお料理が5品目になりました。

このように、家族の恒例行事は、毎年続けることで、子ども達が大人になって独立した時に、その経験を思い出して次の世代に引き継いでいくのでしょうか。

**平成24年
第1回定例会は
2月14日(火)
からです。**
皆さまの傍聴をお待ちしています。
<http://www.town.hayama.lg.jp/gikai>



葉山にも、各地区で引き継がれてきたり、復活した行事があります。除夜の鐘、初詣、成人式、出初め式、左義長や節分などです。昭和40年代には、「14歳立春式」という行事がありました。今でもそのような行事が残っている地方では、「自覚」「立志」「健康」

議長 畑中由喜子
議会広報特別委員会
土佐洋子 窪田美樹
長塚かおる 中村文彦
金崎ひさ 伊東圭介